

七尾教会、七尾幼稚園、七尾市等のようす

(7～10月の七尾教会のブログより引用させていただきました)



7月1日

能登半島地震から半年。復興が進んでいると思う人は少ない。いやほとんどいないかもしれない。壊れた建物がそのままになっている状況に慣れてしまっている。そんな中で、名古屋市の幼稚園から絵本のプレゼントが届いた。

朝、みんなに紹介すると歓声上がる。みたいと声上がる。クラスごとによみきかせ。笑顔。その笑顔を見て思う、幼稚園ができる事。子どもたちの笑顔をいっぱい作る事。復興の中で頑張っている若いパパママなどのお家の皆さんは、この笑顔に元気づけられるんだ。

7月4日

教会員のOさん宅の解体が進んでいる。ガッシャン壊すというより、少しずつ少しずつ家の形がなくなっていく。今日見たら半分なくなっていた。解体業者さんの車を見ると、金沢、富山、豊橋ナンバー。いろんな所からきてくれている。Oさんの娘さんと同級生の幼稚園教師に見せる。「あー、思い出の場所がなくなった」よく遊びに行った家。間取りまで知っている家。解体が進まないと、復興は進まない。でも建物が一つなくなるたびに寂しさがある。



7月15日

昨夜は大雨で、七尾市にはいろいろ警報が出ていました。朝、いつも雨漏りしているところを見に行くと今回は何も無し。ああ良かったと思ったら、牧師室に雨漏り。いろいろあります。このくらいは仕方ない。



7月31日

公費解体が進む七尾。街を歩くと、空き地に出会います。あれ？ここには何があったんだっけ？幼稚園に戻って、「あそこなんだっけ？」と先生たちに聞いてみる。誰も即答できない。ああだこうだとはなしあって、住宅地図を引っ張り出しても？？この会話をこれからなん度も繰り返していくのだろう。なんて事のない家。だから、どんなだったかおもいだせない。

8月2日

ブログ読んでくださっている方から、子どもたちのためのプールをいただきました。どこで使ってもいいですよというメッセージと共に。職員でいろいろ相談した後、学童に来ている小学生のところへ。今年の夏、七尾のほとんどの小学校のプールは使えません。今日、とっても楽しそうに水遊びをした子どもたち。この子どもたちも断水中は、節水節水の生活でした。水汲みの手伝いをした子もいます。大胆に水を使う子どもたちを見て、プールをくださった方に感謝。



8月9日

幼稚園の斜め向かいの家の解体が7月16日から始まった。どのくらいかかるか、正確に見守ろうと思い、写真を撮りながら見守る。2週間ぐらいで終わるかなと思っていたのだが……なかなか進まない。

2007年の経験では、解体始めますと言われて、ある程度片付けたらすぐに重機が家をバッシと叩き壊した。でも今は違う。廃材をできる限り分別する。それにとっても時間がかかる。そして分別したモノごとに運び出される。その上、時々作業が止まる。今回はたくさんのチームが県外から入っていると聞いている。たくさんの解体申請があるから、あっちもこっちもあるのだろう。一つの家屋に一月。このペースで年内にどこまで進むのかわからない。

8月13日

日曜日の午後に1～4年生の会、月曜の午後に5、6年生の会を行った。地震の影響もあって例年通りに行くかどうか、CS教師たちでは議論があった。森山長老の提案で、この地域にボランティアに来ている人たちに手伝ってもらうことになった。日本各地から、いや実は海外からいらし方もいたボランティアさんたち。子どもたちの相手ですという募集をしたので、日頃から教育や福祉に関わっている方が多かった。特に教会関係者ではなかったが、一緒に礼拝をし、食前のお祈りをした。皆さんとてもすてきな方で、お掃除なんかも積極的。何よりちょっと複雑な気持ちを抱えている子供達にも寄り添っておしゃべりし、仲良しに。地震の後、何だかんだとちょっと我慢している小学生たち。そんな一人一人のことを知っている私としては、楽しい楽しい会にしてあげたいと願っていて、そうなったことに本当に感謝。



8月17日

ご近所のガソリンスタンドが昨日から営業再開。地震の翌日、翌々日、少しでもガソリンを販売しようと頑張ったスタンドだ。その後、軽油タンクなどに損傷が見つかって、ずっと修理工事。最初はGW明けには終わると聞き、6月には…と延びていき、結局8月。特殊な工事だから。とにかく工事完了、営業再開。一つ一つそうなっていくのは感謝。

けれど一方で、教会幼稚園の工事が始まらないことに焦りはある。毎日傷ついた壁を見ているのは疲れる。早く取りかかれなものか…いやいやうちマシな方なんだから…複雑な気持ちである。

9月8日

9月長老会。今日は7080の長老が欠席なので、牧師が最年長。壁が落ちたまま、エキスパンジョイントがぶら下がったまま、の場所で会議。最初の頃はなんだか落ち着かなかったけれど、今はみんな慣れてしまった。



9月21日

知人のスマホに送られてきた輪島の写真



2024/09/22 16:24

差出人 新藤先生 輪島教会...

16時ころ停電解除しました。礼拝は、新藤、大下、奥野の3名でした。お祈りありがとうございます。

9月22日

新藤先生からのメール。停電解除。礼拝も守られたようです。



9月23日

昨日、森山さんから送られてきた輪島の写真です。水が引いた後の道路。道路の復旧がすこしでも進むように願うしかないようです。



9月23日

今、能登半島にあるいろんな支援グループが体制を整えています。多分、たくさんの助けが必要です。ただ、1月の地震で体験したのは受け入れる体制が整っていなかったもので、すぐにボランティアさんに来てもらうのは大変だったと言うこと。今回も、地域によって停電していたり、断水していたりといった状況があります。軽々に動ける状況ではないようです。教会の建物に新たに被害があったというわけではありませんが、能登が大変なことになっています。たくさんの人の支えと祈りが必要です。8月末に自衛隊が撤収し、9月に各地で避難所が閉鎖され、仮設住宅が使われ始めたところでの大雨。この雨での被害はほとんどない七尾の者でも心が折れます。お祈りください。

9月29日

すてきなメッセージカードをいただきました。
その教会から見上げる星空を思い浮かべつつ。
ありがとうございます。



9月30日

七尾幼稚園の主任をしている教師の家の解体が今日から始まった。午前中は仕事を休んで、立ち会っていいよと声をかけたが、逆に仕事していた方がいいというのでいつも通りに出勤。普通に仕事しているのだが、他の教師が今日からでしたねと声をかけると、一瞬涙目になる。地震以来ずっと解体すると覚悟していたようだが、いざ始まるとやはり悲しい。そんな気持ちを自分の2007年の気持ちと重ねる。ぼろぼろの牧師館だったけど、シロアリに食われてたけどなんとも言えない悲しさがあった。昨日は家族で写真を撮って家とお別れしてきたという。



10月6日

9名の出席。聖餐式執行。地震後も毎週礼拝に出席していた姉妹が骨折した為、しばらく礼拝出席が難しいことが報告されました。早く回復されますように。



10月9日

七尾市解体第一号と言われていた一本杉通り入り口の薬局の解体が終わったようだ。解体が進む中で、今まで見慣れていた建物がなくなっていく。空き地が増えて隠れていたものが見える。一方で、使えると判断された建物は、衣替えのように役割を変えている。廃園になった保育園の園舎が災害ボランティアの拠点に。レンタルやさんの建物が介護ステーションとカフェに。しゃぶしゃぶやさんが歯医者さんに。パチンコやさんが建築会社の営業所に。電力会社の社宅がアパートに。

県の発表で、輪島の大規模豪雨被害の方の二次避難先として、和倉や能登島の名前があった。1月2月には七尾市断の水などで大変過ぎてそんなことはできなかったが、今回はそんな役割ができるようだ。能登全体の復興。そんなことを考えている夜、久しぶりの緊急地震速報。震度2。また珠州や輪島揺れているのだろうか…それにしても速報音はいつも辛い。震度2で出さないとダメかな。

構成：現地委員会